

第11回熊毛保健医療圏地域医療構想調整会議の開催結果について

日 時：令和5年2月3日（金）午後6時00分～午後7時30分

場 所：熊毛支庁 第1会議室

出席者：14人（代理出席者2人を含む）

1 概要

（1）報告及び協議

- ア 令和3年度病床機能報告（確定値）について
- イ 令和3年度病床機能報告と定量的基準の照合結果について
- ウ 外来機能報告について
- エ 公立病院経営強化プランについて
- オ 熊毛圏域における医療人材確保について

2 意見、質疑等

（1）令和3年度病床機能報告（確定値）について

- ・ 中目医院が休棟中で再開見込みの区分であるが、再開するおよその年度と科目は何になるか。

→ 現在は病棟は廃止となっている。この数字は令和3年7月1日時点での令和7年7月1日の病床機能を予想し報告したものである。

（2）令和3年度病床機能報告と定量的基準の照合結果について

- ・ 令和3年度病床機能報告において、定量的基準と異なる病床機能報告があった公立種子島病院に、選択の理由を確認し、医療機関が選択した病床機能（急性期）と報告することについて、委員から特段の意見はなく、合意が得られた。

（3）外来機能報告について

- ・ 都市部の医療機関については当てはまると思うが、種子島は病院が2つしかない。開業の医師もそんなにおらず、結局自分のところで患者を診て、入院適用を決め、治療することにならざるを得ないと思うが、そことの整合性はどうか。

→ 医療機関、普通の一般診療所も少ない熊毛圏域においては、意味のない作業になると思うが、外来機能報告で報告していただいた中で、紹介受診重点医療機関に当てはまる医療機関があれば、その時点で協議をしていく形になるのではと考えている。

（4）公立病院経営強化プランについて

- ・ 公立病院経営強化プラン策定の対象となっている公立種子島病院から、令和5年に計画を策定する予定と説明があり、今後調整会議で意見を伺うこととなる。

(5) 熊毛圏域における医療人材確保について

- ・ これからの熊毛圏域においては、看護師不足が深刻な状況を迎える。行政、医師会、医療機関等の連携強化で早急な対策が必要である。
- ・ 看護業務がかなり複雑化してきており、今から看護師の勉強をして看護師になりたいと考えてくれる若者が減っている。「やりがい」をどのように伝えていくかというところを検討している。
- ・ 看護師の不足については、直接医療現場からも要望が来ている。行政としてもそれに応えるべく努力をしていくところである。
- ・ ここ2年、コロナワクチン接種等に携わり、看護師の人材不足を実感しているところであり、今後検討していかないといけないと考えている。
- ・ 住んでみたい町であれば、資格を持っている人が来ると思う。住みたいと思う魅力的な町づくりを行政にはお願いしたい。
- ・ 医療機関で奨学金制度や、職種のローテーション、入職希望者へ旅行費を免除したツアー等、いろいろな方法を駆使して職員を集めている現状。余っているかといえばそうではないが、なんとか足りている。

(6) その他

- ・ 今後の開催日程等は、改めてお知らせする。
- ・ 今年度末で委員の任期満了となるため、令和5年度当初に委員改選を行う。